

(様式1)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	39	学校名	宇都宮市立城山中央小学校
-----	---------------	------	----	-----	--------------

平成31(2019年度) 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

健康で豊かな心を持ちたくましく生きる子どもを目指して、感性を磨き、社会的知性と実践力を身に付ける

(2) 具体目標(具体的な児童生徒像など)

- | | | |
|--------------|-------|-----------|
| ○ 進んで勉強する子ども | _____ | かしこく (知) |
| ○ 思いやりのある子ども | _____ | なかよく (徳) |
| ○ 喜んで働く子ども | _____ | |
| ○ 健康で明るい子ども | _____ | たくましく (体) |

2 学校経営の理念

「みんなが 楽しく 城山中央小学校」を理念とし、子どもが居がいを感じ、楽しい学校、教職員が子どもとふれあい、教育に楽しさを感じる学校、保護者・地域住民から学校の取組に信頼が寄せられる学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針

- (1) 城山中央小学校の歴史と伝統を踏まえ、長年にわたって築いた教育の精神や校風を継承し、その発展に努める。(学校経営全般)
- (2) 学校経営の中核に児童の確かな学力の定着を位置付け、基礎基本を確実に習得させ、課題解決に必要な資質能力を育てる。(学力の向上)
- (3) 規範意識と他者を思いやる豊かな心を育み、活動の源となる体力の向上に努める。(豊かな心の育成と体力の向上)
- (4) 家庭・地域社会との連携強化に努めるとともに、家庭・地域の教育力を生かした教育活動を充実させ、地域に根ざし開かれた「地域に信頼され、地域の核となる、活力あふれる城山中央小学校」の実現に努める。(家庭・地域社会との連携)
- (5) 高い指導力と専門性を身に付け、強い使命感や情熱を持って授業力・学級経営力を向上させるとともに、和と協働の精神を大切にして、チームとしての学校の力を高めていく。(教職員の資質・能力の向上)
- (6) 校内の業務の適正化を図るとともに、ワークバランスを意識しながら職務を遂行する。(学校における働き方改革の推進)
- (7) 城山地域学校園教育ビジョンにのっとり、小中一貫教育を推進するとともに、学校園内各小中学校との連携による地域一体の教育を推進する。(地域学校園小中一貫教育の推進)

[城山地域学校園小中一貫教育ビジョン] ～ともに学び合う城山っ子を育む地域学校園～ 学校園内小中学校が連携し合い、地域の教育力を生かしながら、「自他を尊重し、郷土に愛着を持ち、諸活動を通して互いに高め合う児童生徒」の育成に努める。 [城山地域学校園小中一貫教育スローガン] 合言葉は「愛」 みんなで育てよう！自分を愛し、仲間を愛し、地域を愛する城山っ子
--

4 教育課程編成の方針

日本国憲法、教育基本法、学校教育法及び施行規則、小学校学習指導要領、栃木県「幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校 指導の指針」、「第2次宇都宮市学校教育推進計画」・「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」・「平成31年度指導の重点」の示すところに従い、本校教育目標達成のための学校経営方針や努力点、学校評価の反省を十分踏まえて編成する。

5 今年度の重点目標(「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○)

- (1) 学校運営 学ぶ楽しさ、豊かな心の育成を目指した、和と協働の学校づくりの推進
- (2) 学習指導 主体的に学び、自分の考えを生き生きと表現する児童の育成
- (3) 児童生徒指導 思いやりの心を持ち、決まりやルールを守り、主体的に行動できる児童の育成
～児童と児童、児童と教師のコミュニケーションをより深めることを通して～

- (4) 健康（体力・保健・食・安全） 自分の体に関心を持ち、健康に留意しながら目標に向かって意欲的に運動する児童の育成
～教科体育や体育的行事の充実と児童が体を動かしたくなる体育的環境の整備を通して～

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組 ※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

本校の特色は、児童一人一人の主体性と豊かな心を育む「まごころ教育」の推進である。まごころ教育は、「花と緑と小鳥の学校」の実践を核とした「自然とのかかわり」と、福祉教育・縦割り班活動・地域素材の活用の中での「人とかかわり」という両面からその深化・拡充を目指すものである。

(1) 育てたい資質・能力

- ① まごころ広場等での、自然とのふれあいを生かした体験活動を通して自然を愛し、保護しようとする心や主体的に取り組む態度を育てる。
- ② 福祉施設や地域高齢者との交流を推進することにより、進んで社会のために奉仕しようとする態度を養う。
- ③ 縦割り班での活動を通して、個々の立場を認め、協力して充実した活動へと高めようとする態度を養う。また交流する中で、下級生への思いやりや上級生への尊敬の心を培う。
- ④ 地域素材を教材化したり、地域人材を中心とする「城央小町の先生」に教えていただいたりする中で、コミュニケーション能力を高め、地域への関心や地域を愛する心を育てる。

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」関連には文頭に◇）

- ◇① 学習指導の充実（「学力向上」を図るための授業改善・環境づくりを行い、基礎基本を確実に習得させる）
- ② まごころ広場の活用（計画的に各教科や総合、クラブ等で使用する）
- ◇③ 福祉施設との交流（葛藟会訪問、入所者との交流活動を行う）
- ◇④ 地域高齢者との交流（まごころ会食や生活科「昔の遊び」の実施、学校行事への招待）
- ⑤ 縦割り班による人づくり（なかよし班ごとの遊び、まごころ清掃、1年生を迎える会、長縄大会、6年生を送る会 など）
- ◇⑥ 実践力を育てる道徳教育の推進（道徳教育の要としての道徳科の指導の充実を図るとともに、体験的な活動を工夫する。）
- ◇⑦ 地域素材の教材化（城山地区の文化財を授業等で活用する）
- ◇⑧ 地域教育ボランティア「城央小町の先生」の活用（読み聞かせや「すこやか教室」を実施する）
- ◇⑨ 家庭と連携した食育に関する取組（食事のマナー向上や食への関心を高める工夫に努める）
- ◇⑩ 健康・体力の向上と健やかな体を育てる取組（まごころ広場等体育的環境を活用した活動の工夫をする）
- ◇⑪ 図書室の整備と絵本の国の充実、家読の推進（読書リレー、親子読書の推奨と、ブックトークの充実を図る）

8 本市の重点施策・事業と関連する取組

(1) 地域とともにある学校づくり「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」

① 基本的な考え

地域に根ざし開かれた「地域に信頼され、地域の核となる、活力あふれる城山中央小学校」の実現に向け、地域との連携強化に努め、地域の教育力を生かした教育活動を充実させる。

② 主な取組

- ・授業参観や学校公開日の工夫・「城央小町の先生」の活用・地域行事への児童の参加
- ・PTAや魅力協と連携した活動（あいさつ運動、「学校へ泊ろう」、「やきいも焼けるかな」等）
- ・各種便り、ホームページの充実 等

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的な考え

地域学校園の小中教職員が相互理解を深めるとともに、地域学校園小中一貫教育ビジョンの実現に向け、一丸となって具体的で効果的な取り組みを進め、学校園内各小中学校との連携による地域一体の教育を推進する。

② 主な取組

- ・小中乗り入れ授業・合同研修会・小中合同あいさつ運動
- ・小中一貫教育だより発行・冒険活動教室での合同イベント・城山中合唱コンクール6年生参観 等

(3) 不登校対策

① 基本的な考え

教職員の不登校の未然防止の意識を高め、新たな不登校を生まないための早期発見、早期対応の取組を強化する。

② 主な取組

- ・児童と担任との信頼関係の構築と、すべての児童にとって居がいのある温かな学級経営
- ・不登校の兆しを見逃さない確実な初期対応と校内組織の活用